

ケミカル工場 概要

許可能力

中和施設	1761.5 m ³ /日
不溶化施設	145.2 m ³ /日
還元施設	87.3 m ³ /日
破碎施設	3.4t/日

保管容量

中和施設	818 m ³
不溶化施設	80 m ³
還元施設	20 m ³

取り扱い廃棄物

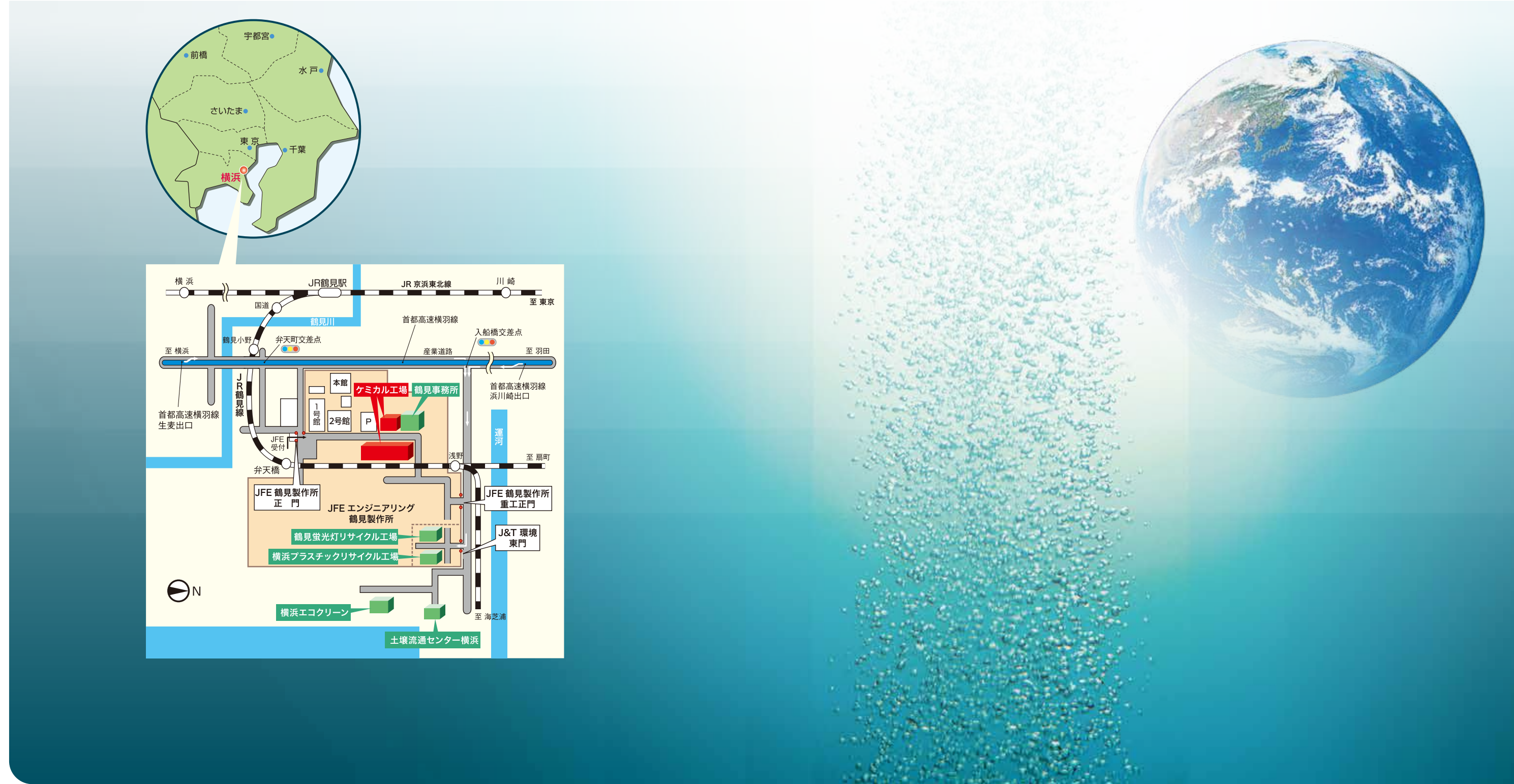
廃棄物の種類	ばいじん					
	廃酸	強酸	廃アルカリ	強アルカリ	汚泥	廃油
有害物質						
セレン又はその化合物	●	●	●	●		
水銀又はその化合物	●	●	●	●	●	
カドミウム又はその化合物	●	●	●	●	●	
鉛又はその化合物	●	●	●	●	●	
砒素又はその化合物	●	●	●	●	●	
六価クロム化合物	●	●	●	●	●	
シアン化合物						
ジクロロメタン						
ベンゼン						
1,4-ジオキサン						

所在地

J&T 環境株式会社 ケミカル工場
〒230-0044 横浜市鶴見区弁天町3番地1

環境負荷の少ない高度水処理技術

ケミカル工場



J&T 環境 株式会社

営業本部 サーマル・ケミカル営業部
〒212-0013 川崎市幸区堀川町580番地ソリッドスクエア東館9階
TEL:044-330-9477 FAX:044-511-1501
URL: <https://www.jt-kankyo.co.jp>



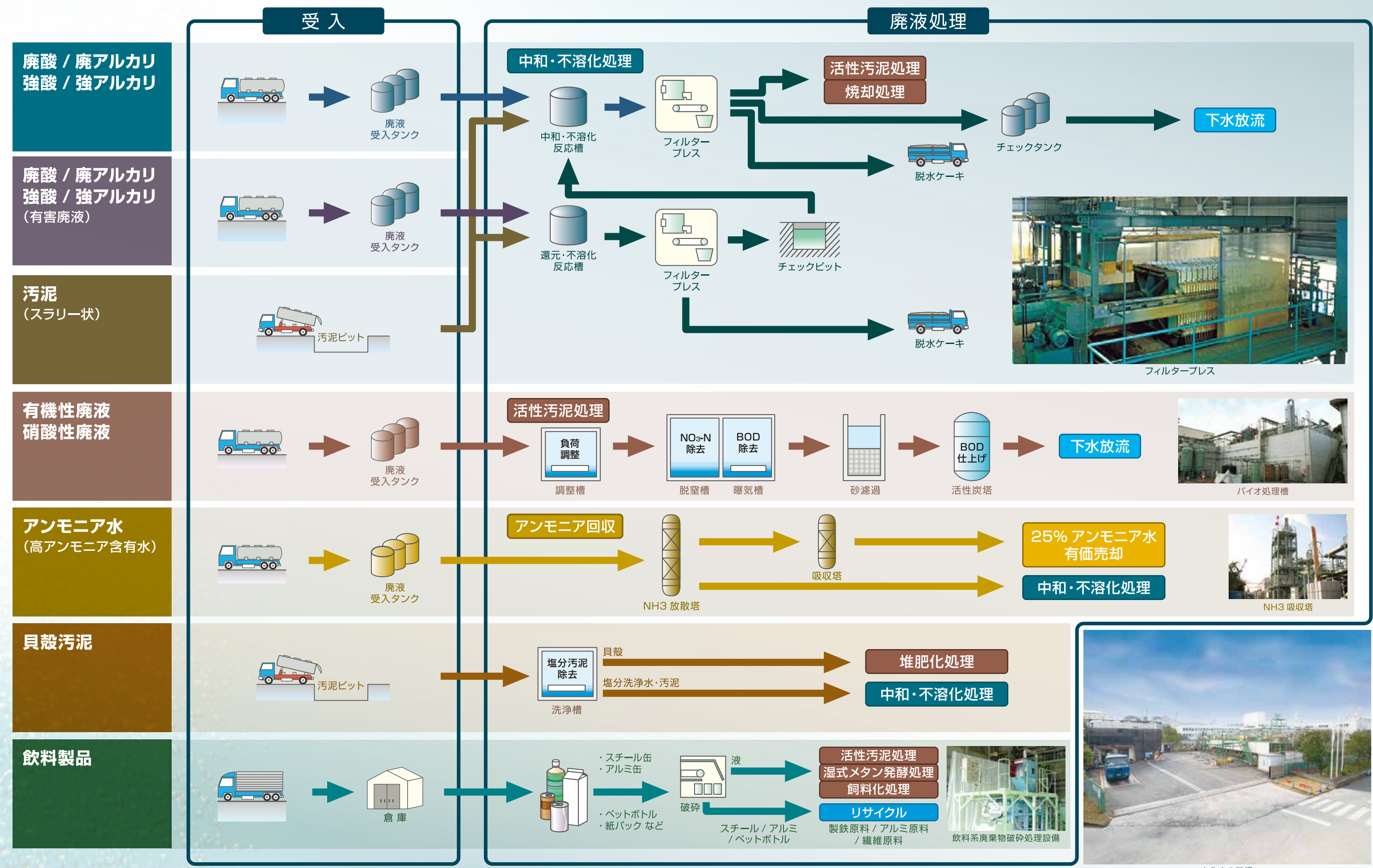
J&T 環境 株式会社

JFE

様々な種類の廃液処理ニーズに対応。

環境負荷低減に最適なシステムをご提供します。

<p>中和処理</p>	<p>廃酸・廃アルカリ・汚泥に含有している高濃度の重金属 (Fe,Cu,Zn)等の物質に応じて、薬剤・凝集剤を添加し、汚濁成分を除去します。 亜鉛含有廃液は、亜鉛を回収しリサイクルしています。</p>
<p>不溶化・還元処理</p>	<p>有害物(Hg,Cd,Pd,Cr6+,As,Se)を含む廃液・廃アルカリ・汚泥を高度な技術により安全に無害化処理します。</p>
<p>汚泥処理 (スラリー)</p>	<p>設備清掃汚泥等、直接汚泥ピットへ受け入れ、中和・不溶化処理を行います。 清掃作業・収集運搬・処分まで、一括した処理のご提案も可能です。</p>
<p>活性汚泥処理</p>	<p>最新技術を駆使した新プロセスを採用することにより、BOD、窒素対策に大きく前進しました。 処理量の増大に伴い安価で安定した処理を提供することで、お客様のニーズにお応えします。</p>
<p>アンモニアリサイクル</p>	<p>廃液に含まれるアンモニア (NH3) を回収します。 回収した 25% 濃度のアンモニア水は、外部に販売し、リサイクルしています。 アンモニアタンクからの廃液回収・収集運搬・処分まで、一括した処理のご提案も行っています。</p>
<p>貝殻リサイクル (堆肥化)</p>	<p>浚渫工事から発生する貝殻汚泥を洗浄し、貝殻については堆肥化処理、洗浄水・汚泥については中和処理を行います。 焼却処理が多かった貝殻汚泥の新たなリサイクルとして注目されています。</p>
<p>飲料製品リサイクル</p>	<p>期限切れや、破損、ラベル不良等の廃棄飲料製品を容器ごと破碎処理します。処理後の廃液は活性汚泥処理による完全無害化や、メタン発酵処理・飼料化等処理の食品リサイクル法に適合した処理のご提案も可能です。 スチール缶・アルミ缶・ペットボトル・紙パックなど、あらゆる飲料容器に対応し容器はそれぞれマテリアルリサイクルしています。</p>



ケミカル工場